

活力とにぎわいのある地域づくり ひめどだより

発行：平成 28 年 3 月

VOL.5



Contents

- p1 絵画コンクール入賞作品
- p2 「八家川高潮対策事業」の紹介
- p3 「浸透側溝」って知っていますか
- p4 「砂防えん堤」の種類と役割
- p5 「県民まちなみ緑化事業」の紹介
- p6 トピックス「船場川と外堀川」

表紙

一般県道広畠青山線「俺天下山トンネル」

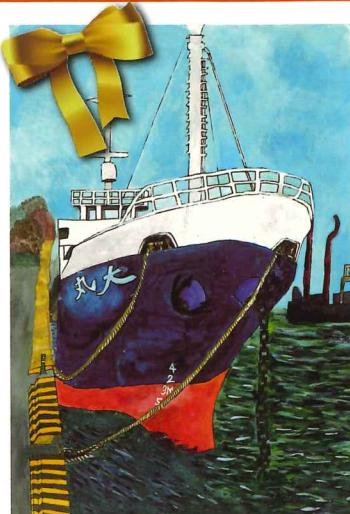
2015小学生の夏 みんなの「川・道・港」絵画コンクール入賞作品



「ひめじこうとっぽん丸」
津田小学校 2年 山本 龍輝



「いつもの道」
大塩小学校 4年 森宗 朔也



「近くの港の船」
的形小学校 6年 濱田 葦



「新幹線がはしっている揖保川」
網干西小学校 2年 宮脇 純也



「宮堀川」
飾磨小学校 6年 黒田 凉葉果



「身近な川の生き物の躍動」
旭陽小学校 4年 嶋根 清仁



「ひめじ駅前からみたまちなみ」
高浜小学校 3年 田口 侑果



「網干臨海大橋」
南大津小学校 5年 八十 碧



「無題」
大津小学校 1年 前川綾音



「楽しい川遊び」
川辺小学校 3年 藤澤 未有



「バスがフェリーにのるところ」
広畠第二小学校 1年 横木 賢格



「あなたと町を守るために」
白浜小学校 6年 川崎 真英



「はまかぜが走る鉄橋と市川」
田原小学校 1年 浅井 陸人



「船場川と車門橋」
城西小学校 4年 小山 愛菜



「ずっとこのままで」
福崎小学校 6年 香西 美咲



【審査会】



【絵画展】



【表彰式】

夏休みに中播磨の小学生を対象に、「川・道・港」などの社会基盤をテーマに絵画を募集したところ、管内の小学校57校から379作品の応募がありました。中播磨県民センター長賞は、1・2年生の部では津田小学校2年生の山本龍輝さん、3・4年生の部では大塩小学校4年生の森宗朔也さん、5・6年生の部では的形小学校6年生の濱田董さんが受賞し、佳作も含め、全45作品が入賞しました。

八家川高潮対策事業

八家川周辺では、過去から幾度も水害を受けています。特に平成16年には2度の台風によって高潮被害が発生しており、再度の高潮被害を防止するため、排水機場および防潮水門を整備しています。

高潮が発生すると、堤防の高さが潮位より低いところから浸水が発生します。そこで、下流域に防潮水門と排水機場を設置し、高潮による被害を防ぎます。

完成イメージ



①防潮水門 ~高潮から守ります~

■堤防からの突出感を抑えたシンプルで景観に配慮したライジングセクターゲート型式の水門を採用しました。



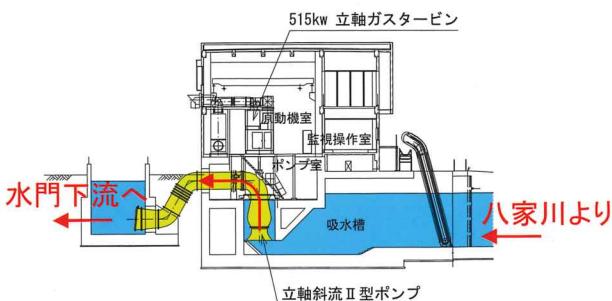
～防潮水門の諸元～

- 水門型式 : ライジングセクターゲート形式
- 門数 : 1門
- 径間割及び扉高 : 径間長20m×扉高6.35m
- 開閉機形式 : 油圧モータ・ラック式
- 開閉速度 : 0.3m/min
- 開閉時間 : 22分程度

②排水機場 ~流水を海へ排出します~

■ポンプ : ポンプ1台で25mプール(400m³)を約50秒で空にしてしまう能力を持っています。

■主原動機:航空機のエンジンとしても使われているガスタービンエンジンによりポンプを動かします。



～排水ポンプの諸元～

- ポンプ規模 : 15.5m³/s(7.75m³/s×2台)
- ポンプ型式 : 立軸斜流(Φ1,650mm)
- 原動機 : 立軸ガスタービン(515KW)

～八家川における防潮水門と排水ポンプの操作の仕組み～

■水門で高潮を防御し、ポンプで八家川の流水を排出します。

①平常時

高潮が発生していない平常時は、水門は開放している。

②高潮が発生する恐れ+水門閉鎖

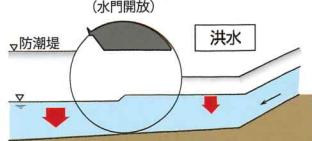
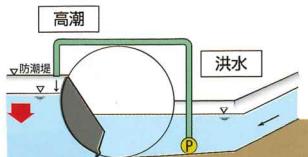
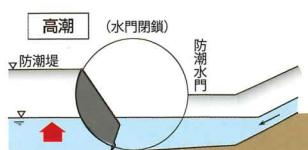
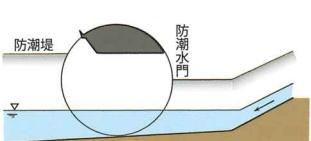
高潮の発生が予想(高潮警報発令等)される時、水門を閉鎖し、高潮による河川水位の上昇を防ぐ。

③高潮が収まるまで水門閉鎖+排水ポンプ運転

高潮が収まり、高潮による被害が発生しないと予想される水位になるまで、水門を閉鎖する。
必要に応じてポンプを運転する。

④水門開放、ポンプ排水停止

潮位が高潮被害の発生しない水位まで下がり、かつ、河道内の水位以下になれば、ポンプを停止。
その後、水門を開放し、自然排水に切り替える。

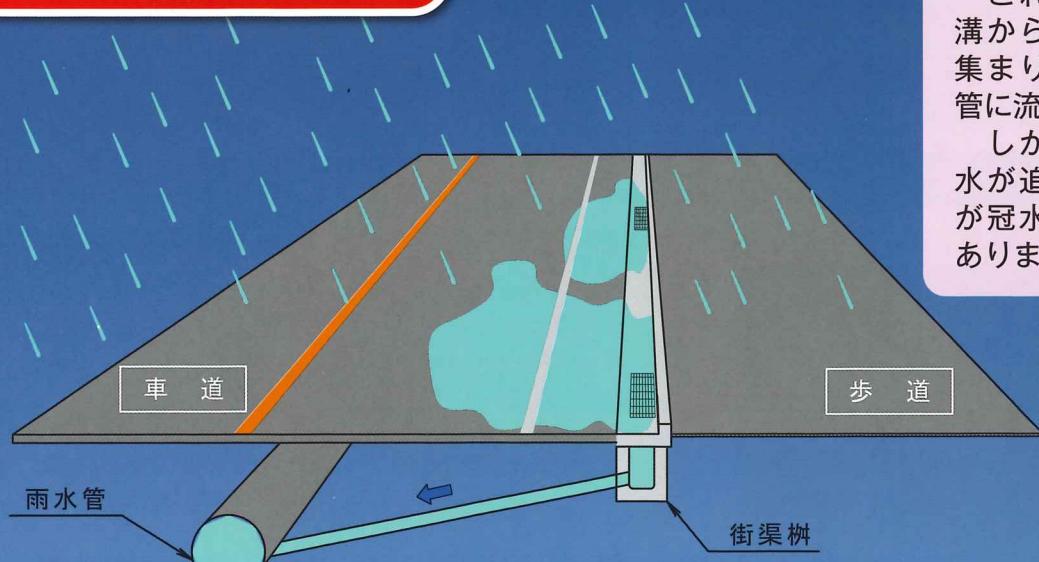


道路に採用!「浸透側溝」って知っていますか?

近年、台風に伴う大雨のみならず、局地的に集中する大雨が多発することで、従来よりも浸水による被害が拡大しています。こうした状況のもと、これまで降った雨を集めて早く流すという「治水」の考え方から、雨水を一時的に貯留、又は地下に浸透させ、浸水被害を低減する取り組みの必要性が高まっています。

道路事業においても、都市部での道路の新設・改築・補修等に合わせて、雨水流出のピークカットを行い、浸透被害の軽減を図ることを目的として「浸透側溝」の導入を進めています。

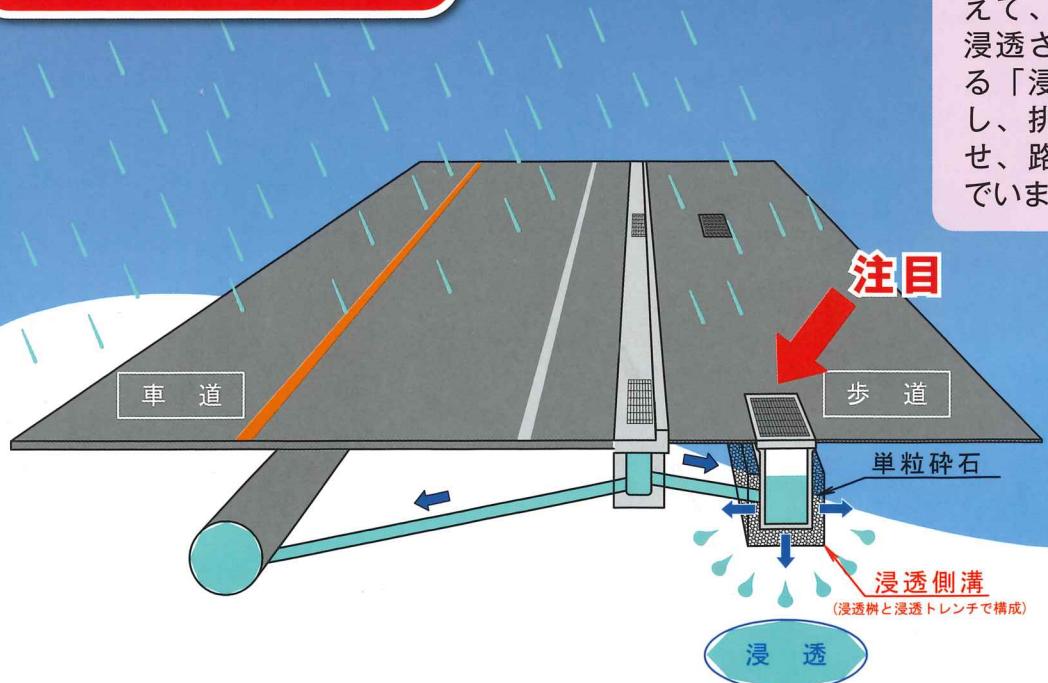
従来の排水方法



これまで、道路側溝から街渠樹に雨水が集まり、雨水管や下水管に流していました。

しかし、大雨時は排水が追いつかず、路面が冠水することも度々ありました。

これらの排水方法



従来の排水方法に加えて、流入水を地下に浸透させることができる「浸透側溝」を設置し、排水能力を向上させ、路面の冠水を防いでいます。

「砂防えん堤」の種類と役割

砂防(さぼう)事業で整備する構造物のうち、代表的なものが土石流による災害を防ぐために渓流に設置する『砂防えん堤』です。

『砂防えん堤』には、土石流を食い止める働きのほかにも土砂を貯めて渓流の勾配を緩やかにする働きや一度に大量の土砂が下流に流れ出ることを防ぐ働きがあります。

不透過型えん堤



- ◆土砂が満杯になった後も大出水時には一時的に土砂を貯めることができます。(③→④)
- ◆その後自然に土砂が流下することで繰り返し機能を発揮します。(⑤→③)



最近では普段は流れてくる土砂は貯めずに下流に流し、土石流が起きた場合にだけ土砂や流木を食い止める働きを持つ『透過型えん堤』と呼ばれるえん堤も設置されるようになってきています。

透過型えん堤



透過型えん堤では、貯まった土砂や流木を除去します。



【透過型えん堤】はこんなところで採用しています。

- 生態系の配慮…貴重な生物が存在し渓流の連続性を保つ必要がある
- 人家との離隔…人家への安全性を考慮し、えん堤と人家の距離が離れている（概ね200m以上）
- 近接道路の有無…貯まった土砂を除去するための管理用道路が近くにある

県民まちなみ緑化事業

県民まちなみ緑化事業とは

県民緑税を活用した緑化活動に対して補助をする事業です。

都市における環境改善などを目的として、植樹や芝生化などの緑化活動に最大400万円まで補助をします。対象は、自治会・緑化団体などの住民団体や土地所有者などが実施する、公園・広場・学校・幼稚園などでの緑化活動です。

詳しくは、まちづくり建築第1課までお気軽に問い合わせ下さい。



県民まちなみ緑化事業を利用して、小学校の校庭を芝生化しました。施工やその後の維持管理は、芝生化実行委員会などで行います。

左の写真は、小学校の児童たちで芝貼り作業を行っている様子です。芝生化により外遊びが増加し、体力が向上します。児童自ら芝貼り作業を行うことで、愛着もわきます。

補助対象は以下の4種類です

一般緑化



駐車場の芝生化



校園庭・ひろばの芝生化



建築物の屋上緑化・壁面緑化



専門家による講習会

現地で専門家による講習会を、無料で受講することができます。

対象：緑化グループや住民団体等
内容：植栽や芝生化の計画、維持・管理方法に関することなど

講師：樹木医、大学教授、芝生の専門家、造園施工管理技士など



トピックス (船場川と三左衛門堀 (外堀川) の環境保全)

1 江戸時代の話

皆さんご存じの船場川という名称は、本多忠政が姫路城主の時代（1617年～1631年）に、材木町と飾磨津（現在の姫路港）をつなぐ高瀬舟が運航されるようになったことに由来するそうです。現在、八代本町には船着き場の跡が残されており、往時の面影を残しています。

一方、船場川と並んで姫路中心市街地から姫路港に至る三左衛門堀（現在の外堀川、下流部は野田川）は、実は本多忠政より3代前の池田輝政が城主の時代（1600年～1613年）に、姫路城と姫路港を結ぶ運河として計画されましたが、設計ミスもあり工事が挫折してしまったそうです。

姫路港と姫路城下の高低差が問題だったのか、その後、本多忠政は、海水を引き込む運河をやめて、河川水を利用できるよう飾磨井堰を築造し、船場川を整備して舟運を開いています。

ちなみに三左衛門とは、池田輝政の通称です。



八代本町にある船着き場跡

2 船場川と外堀川の環境保全

船場川には舟を繋いだとされる船繫ぎ石や高瀬舟の避難場所である船入川など往時の遺構がいくつか残されておりまた、外堀川は運河公園として整備され憩いの空間となっています。

残念なことに、近年、空き缶やペットボトルなどのゴミが増えています。道路や側溝に捨てたゴミは結局河川に集まり、播磨灘に至り、景観を損なうばかりでなく、海の環境も悪化させます。

姫路城がリニューアルオープンし、観光客も増加するなかで、更に姫路の魅力を向上させるためには、河川の環境保全や美化について、みんなで考えることが大切ではないでしょうか。



船場川のゴミ集積状況



外堀川のゴミ堆積状況

参考資料：「姫路市史第十四巻別編 姫路城 姫路市 昭和63年7月」

「船場川再発見」 兵庫県姫路土木事務所 平成12年

「ひょうご水百景 (その壱)」 兵庫県河川整備課厚睦会 平成27年10月

姫路土木事務所の組織

中播磨県民センターは、姫路市および神崎郡を管轄としています。なお、朝来市の生野ダムは姫路土木事務所の管理施設です。また、まちづくり参事は、西播磨県民局管内も担当しています。流域下水道課も、宍粟市・たつの市・太子町及び姫路市の一一部地域に跨がる施設の管理を行っています。

題名	担当事務	電話番号
企画調整担当	県土整備行政の企画・総合調整、社会基盤整備のプログラムの進行管理など	079-281-9441
工事業務課	工事の契約、公文書の公開、文書の受付など	079-281-9451
管理第1課	道路の管理・占用許可など	079-281-9457
管理第2課	河川・砂防等の管理・占用許可など	079-281-9459
用地第1課	道路事業用地の取得と補償など	079-281-9461
用地第2課	街路・河川・砂防事業用地の取得と補償など	079-281-9472
道路第1課	道路改良工事の調査・設計・施工・監督など	079-281-9478
道路第2課	道路の維持・補修工事の調査・設計施工・監督など	079-281-9503
河川砂防課	河川・砂防工事の調査・設計・施工・監督、水防の技術など	079-281-9483
流域下水道課	流域下水道事業の調査・設計・施工・監督など	079-281-9508
技術専門員	占用申請に関する技術審査など	079-281-9444

まちづくり参事

まちづくり建築 第1課	開発許可、建築確認、リサイクル法・省エネ法・景観条例の届出、緑条例の協議など (赤穂市・福崎町・市川町・神河町) まちづくり、緑化補助、大店立地法の届出など (西播磨県民局管内を含む)	079-281-9653
まちづくり建築 第2課	開発許可、建築確認、リサイクル法・省エネ法・景観条例の届出、緑条例の協議など (相生市、たつの市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町)	079-281-9061
建設業課	建設業の許可、宅地建物取引業の免許、住宅瑕疵担保履行法の届出、 解体業の登録（建設リサイクル法）など	079-281-9562

福崎事業所

道路担当	神崎郡内の道路改良・維持・補修工事の調査・設計・施工・監督など	0790-22-1290
河川砂防担当	神崎郡内の河川・砂防工事の調査・設計・施工・監督、水防の技術など	
生野ダム管理所	生野ダムの管理に関すること	079-679-2433
菅生ダム管理所	菅生ダムの管理に関すること	079-336-1370
安富ダム管理所	安富ダムの管理に関すること	0790-66-3721

姫路港管理事務所の組織

姫路港管理事務所は、姫路港・家島港の港湾区域および姫路市家島町を管内としています。

課名	担当事務	電話番号
所付	庶務、経理、財産の取得、管理及び処分など	079-235-0176
業務管理課	港湾の占用及び使用の許可、その他の運営管理に関することなど	079-235-1895
	入港届・岸壁等係留許可申請に関すること	079-235-0177
港湾整備第1課	主に臨海部東部の港湾・海岸・河川工事の調査・設計・施工・監督など	079-235-0178
港湾整備第2課	主に臨海部西部の港湾・海岸・河川工事、家島の港湾・海岸・道路・砂防工事の調査・設計・施工・監督など	079-235-5560

庁舎のご案内

姫路十木事務所

検索



姫路土木事務所
〒670-0947 姫路市北条1丁目98番



福崎事業所
〒679-2204 神崎郡福崎町西田原1994-4



姫路港管理事務所
〒672-8063 姫路市飾磨区須加294